



7

小牧南児童館（小牧市）

父の日特別企画 『パパと頑張る！自転車乗り方教室』

父の日に合わせ、自転車の補助輪外しの講習を実施しました。交通安全についての講話や、自転車安全免許証の発行等も行いました。自転車の乗り方を通して、お父さんと子どもがコミュニケーションをとれるよう企画しました。目的として、以下の4点を重視しました。

- ① 体力増進：運動的要素を取り入れたダイナミックな遊びプログラムを展開することにより運動機能を高め、体力の増進を図る。
- ② 安全について：安全に対する知識を増やし、危機回避能力の発達を促すとともに、安全の為の「規則順守の必要性」を実感させる。
- ③ 子育て支援：子育て中の保護者に向けた情報発信を視野に、子どもの成長の為の環境作りを図る。
- ④ その他：自転車に乗れるようになるという、子どもの自己効力・自己肯定感を育む。



実施日時 2018年 6月10日（日）
10:00～11:30

会場 北外山中央公園（児童館に隣接する公園）

参加者 募集人数：父子 15組 30名
参加人数： 9組 21名

企画の内容

受付：電話・窓口による事前受付（先着順）
 実施の手順：雨でなければ実施。自転車は持ち込み。
 9：30 「和室」に集合。来た人から受付をし、免許証用の写真を撮影。
 10:00 自転車の基本操作、安全について。
 10:15 公園に移動し、実践。
 自転車の基本操作、バランス（両足キック）、漕ぎ出し練習～等、個人の進行具合に合わせて指導。実践の間に免許証の発行を進める。
 11:15 実践終了、安全講話
 11:30 修了式、免許証発行
 ※実践指導中に免許証を発行できない場合は、後日取りに来てもらう。
 準備するもの：パソコン、プリンター、デジタルカメラ、印刷用紙、交通安全についてのリーフレット（自転車用）等



父親対象の企画を行なった所感・今後の展開など

何をやるかわからないプログラムより、「自転車の補助輪外し」という明確なものを出すことにより、お父さんたちは参加がしやすかったかもしれません。これこそ「お父さんの出番！」といったイメージが伝わりやすかったのではないのでしょうか。自転車に乗れるようになるということは、大人の目を離れ、行動範囲が広がるという事です。そこに潜む危険に親子で話をするきっかけが出来ればという想いで実施しました。大人は「乗れる・乗れない」の部分に目が行きがちで、参加者からする

と「交通安全？」と少し騙された感はあるかと思いますが、参加者はほぼ全員、時間内に乗れるようになりました。「自分の子どもがここまで出来るようになるとは思わなかった」という方がほとんどで、いつもと違う子どもの一面が見られたのではないのでしょうか。需要はあるようで、これを見ていた他の方から「次は？」との声が多数あります。次回は父の日に限らず、年間を通して定期的の実施していきたいです。